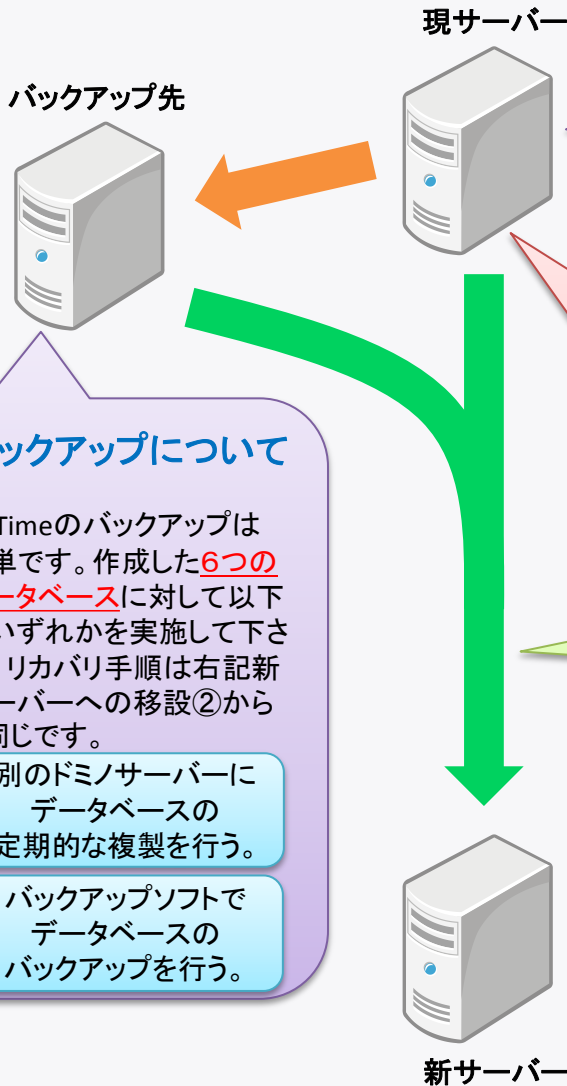


日常のバックアップとリカバリ方法、OnTime移設方法について



サーバーの引っ越しについて

OnTimeサーバーの引っ越しは以下の4つの手順にそって実施してください。

①現サーバーでタスクを終了させる。
新サーバーでタスクを起動させる前に
下記リンクに基づいて旧サーバーで
タスクの停止を行ってください。

[アンインストール手順のアウトライン](#)

②6つのデータベースを準備します。
新サーバーに6つのデータベースを
複製かコピーで準備します。
サーバー名やデータベースの保存
フォルダが変わる場合は下方の修正
箇所の説明にそって修正してください。

③ファイルの削除をしてください。
引き続き現サーバー上のファイルを
上記リンクを参考に削除して下さい。

④新サーバーでアップデート作業の実施。
新サーバーで以下のリンクを参考に
アップデート作業を行ってください。

[アップデート手順のアウトライン](#)

バックアップについて

OnTimeのバックアップは
簡単です。作成した6つの
データベースに対して以下
のいずれかを実施して下さい。
リカバリ手順は右記新
サーバーへの移設②から
と同じです。

別のドミノサーバーに
データベースの
定期的な複製を行う。

バックアップソフトで
データベースの
バックアップを行う。

違う名前のサーバーにOnTimeGCを移設する際に、
サーバー名・ファイルパス等の確認修正箇所について
(サーバー名やアドレスが同じであれば確認の必要はありません。)

■アドレス帳 (names.nsf)

1. OnTimeGCタスクを実行するサーバーのサーバー文書。
→[セキュリティタブの「制限無しで署名または実行」のサーバー名](#)。
2. OnTimeサーバーが参照する各メールサーバーのサーバー文書。
→[セキュリティタブの「信頼できるサーバー」のサーバー名](#)。

■OnTimeGCの6つの全てのデータベースのACL(アクセス制御リスト)の確認。
→[こちらのリンクからACLの推薦設定を参照ください](#)。

■OnTime Config DB (OnTimeGC.nsf)

1. 移設対象が管理サーバーの場合、Global Setting文書。
→[参照するアドレス帳の設定。テンプレート保管フォルダのフォルダ名](#)。
2. 移設対象のServer Setting文書。
→[OnTimeサーバー名、各連携データベースのフォルダ/ファイル名](#)。

■OnTime Web DB (OnTimeGCWeb.nsf)

1. Web Setting文書。
→[サーバー名、Config DB名、ブラウザ接続用URL](#)。